

2 個別事業評価調書

団体名：与謝野町

事業名		野田川衛生プラント整備事業					
事業の概要		地域住民の生活環境の改善や河川等の水質保全を実現していくためには、下水道等の促進とともにし尿処理についても充実を図る必要がある。 衛生プラントは、し尿収集及び浄化槽汚泥の処理を行っているが、下水道整備の進展によりし尿処理の需要が減少する中、今後の施設のあり方も視野に入れた上で、一定の能力を有しつつ、経済的に運営していくことが求められている。 ・野田川衛生プラント施設整備事業 し尿の処理過程において多くの設備があり、設置や整備から10年～15年程度経っているものもあり、安定稼動のために計画的に整備・更新を行っている。 ・し尿収集車購入事業 し尿収集車は、し尿を衛生的に収集運搬し快適な住環境を維持するため必要不可欠なものである。当町では、現在6台のし尿収集車を所有しており計画的に更新するものである。					
		事業期間	平成22年8月2日～平成23年3月25日				
		総事業費	13,463	本年度事業費	13,463	交付金交付額	1,429
事業評価	事業の必要性	下水道施設整備の進展により、野田川衛生プラントのし尿処理需要も減少しているが、まだ下水道未整備地域も多く、引き続き施設の安定稼動が住民から望まれているところであり、し尿処理車の更新や施設設備の整備を行う。					
	事業の有効性	下水道整備も進展しているが、野田川衛生プラントの施設利用も多く、施設の整備は利用する住民の安心に繋がる。					
	事業の効率性	施設の老朽化に伴い、適切な時期に整備を行うことで、施設の長寿命化を図ることができる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果 今回事業にて整備を行うことにより、総合計画に示した「快適でやすらぎのある生活環境づくり」の実現に繋がる。					
		4 広域的波及成果 下水道整備も進展しているが、野田川衛生プラントの施設利用も多く、施設の整備は下水道接続可能地域との格差を是正するものである。					
		5 行財政改革に資する成果 施設の老朽化に伴い、適切な時期に整備を行うことで、施設の長寿命化を図ることができる。					
		6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。